

企業経営のリスクマネジメント・八起会に学ぶ はやぶさ2・526号 2021年11月26日(金)

※末尾に Captain 平本著作の「理念経営実戦のすすめ」を無料（送料100円だけご負担ください）でプレゼント！しています。

<https://kazuzohan.clickfunnels.com/copy-of-facebookqantenibf>

◆◆緊急告知！◆◆

～～ゴールするまで寄り添います～～

アフターコロナで激変する時代。 地域・業種 NO.1 をめざす企業家の皆様へ。
「伴走型」経営支援を成功報酬契約で挑戦いたしませんか！！

「モニター企業」を募集しておりますので、お問合せください。

動画でご案内しております。ぜひ、ご覧ください

<https://rinenkeieishi.net/>

__cO__ 様

4回シリーズ 企業経営のリスクマネジメント・八起会に学ぶ

第1回 社長が暴力団と食事したツケ

★第2回 コロナ禍にヤクザに乘っ取られた病院の末路

第3回 暴力団が「コロナ不況」の企業を食い荒らしている

第4回 Captain 平本のリスク対策者は・・・

＊＊毎回。Captain 平本の「ワンポイント・コメント」付記

◆著者、竹花氏のご紹介

・「手書きソフト」の分野では、NO.1 企業の創業オーナー経営者です。

ランチェスターに熟達した実践者で、石田梅岩の「心学」の造詣も深い企業家です。

<http://www.penplus.jp/profile.html>

=====

第2回 コロナ禍にヤクザに乗取られた病院の末路

著者：八起会 代表

竹花 利明

八起会の代表を務めております、竹花利明です。

八起会は、1978年に世界初の「倒産者の会」として野口誠一会長が設立されました。

八起会：<https://yaokikai.com/index.html>

野口会長が2016年に亡くなられた後、

倒産経験がないものの私がこの会を引き継ぐこととなりました。

*その八起会は、毎月第3土曜日の18時から、毎月「月例会」を開いています。

その中で、本年8月21日に開催されたテーマは、

「暴力団との会食で倒産した会社」でした。

3つの事例を研究しましたが、その事例を3回に分け1つ1つ説明させていただきます。

今回、第2回目のテーマは、

「医者には騙しやすい人種、コロナ禍にヤクザに乗っ取られた病院の末路」

元記事：<https://president.jp/articles/-/40417>

【元記事より】(1)

コロナ禍で外出自粛や感染対策の影響で患者が激減、各地の病院は経営難に陥っている。そこに付け込み、暴力団などの反社会的勢力が「病院乗っ取り」を企てている。

一般の人間から見れば、

暴力団による病院の乗っ取りなど思いもつかない出来事だ。

しかし、小泉政権時代(2001～2006年)に3度の改定で診療報酬が約6.9%引き下げられ、赤字病院が続出している。

経営難に陥った時が危ない。

「弱り目に祟り目」とばかり、悪い奴らが食いついてくる。

これは病院に限らず、中小企業も同じことである。

【元記事より】(2)

ヤクザが病院を乗っ取るケースは、
経営コンサルタントを名乗って、資金繰りに行き詰まった病院に接近する。

理事長の信頼を得ると、配下の人間を事務長や事務員として送り込み、
さまざまな理由をつけ「社員」(出資者)にする。

「渡る世間は鬼ばかり」ではないが、渡る世間には、
鬼や悪魔もいることを知っておかねばならない。

悪魔は天使の顔をして近づいてくる。経営者は、よくよく注意しておかねばならない。

【元記事より】(3)

医療法人の場合、社員総会で各社員は出資額とは関係なく、
1人1票の投票権を持つ(株式会社と異なる)

法律をよく分っていない理事長に
「社員総会の議決権は出資額で決まるので、社員数を増やしても問題ない」
と嘘を言い、

配下の人間を次々と社員にし、社員総会の過半数を握ると、経営権を奪う。

法律を悪用する人間もちろん悪いのだが、
責任ある立場に居ながら、法律を知らない人間も問題である。

最低限の法律やルールを知っておかねば、全てを失うことになる。

【元記事より】(4)

形ばかりの新理事長には、借金で首が回らなくなったような「不良医師」を据える。
いったん経営権を握れば、

- 余分な検査や治療
 - 診療報酬の水増し
 - 生活保護の患者のたらい回し
 - 診療報酬請求権の売り飛ばし
 - 高額医療機器の売りつけやリース
 - 手形や小切手の乱発
 - 資産の切り売り、
 - 病院をつぶしてマンションを建設するなど、やりたい放題である。
-

反社会勢力の問題は、目に見える暴力よりも遥かに恐ろしいものがある。
 地域の健康を支えるための病院が、喰い物になる。
 喰い散らかされた後に残るのは、廃病院なのかもしれない。

~~~~~

◆この事例から学ぶべきこと＊Captain 平本のコメント「2」◆

- 今回の例は、法律万能主義の欠陥とそれを悪用している輩がいることの良い例である。

「法の知らざるはゆるさじ」の言葉があるように、  
 法に依り社会と為政の秩序を保つことが今も特に「官」では、  
 固く守られまたそれを盾にして、自分たちの利権を守っている。

日本の法律は、西洋の法体系を模範としてつくられており、  
 時代の変化に適応出来ないでいる。  
 明治時代から続く民法や刑法が改訂の必要性が叫ばれている昨今である。

その根底には、法を守ることが多くの人々を幸せになることを前提としているが、  
 それを逆手に取る善人ぶった官民の輩がいるのである。

- 株式会社は、資本と経営が分離されており、リスクを負う者が経営権をもっている。

しかし、公共性の強い「1」協同組合 「2」NPO 「3」一般社団 「3」協同労働等の  
 理事会制をとっているところでは、

出資の額には関係なく議決権が一人一票の多数決原理で経営されているのである。  
この例の医療法人もそうである。

・それはそれとして、医者でないとトップになれない法律が間違っているのである。  
周りの人々が善意で考働することを前提にしているが、そうではなくなっている。

医者に経営能力がなく、  
反社会勢力でなくとも事務局長が実権を握っている例は、数多い実態である。

今起きている日大の事件も類似の事である。

・更には、最近コロナ禍での出来事で、  
生活保護者が介護保険料等の不払いで差押をしてニュースをご存知と思います。  
ただし真贋は未確認ですが・・・  
（生活保護費や年金は差押ができない）異常な記事なのです。

・都税や県税でも税金の滞納に対して、預金や売掛金の差押を行い、  
企業が倒産するリスクがあるのにも関わらず自分の任務としてやるのです。

彼らの言い分は「法にもとづいて・・・」の一言。  
公僕としての自覚も、納税者の幸せのことは毛頭ないのである。

＊憤りのため長くなりましたが、  
「合法的に行われる悪は、法では救われることはない」  
ことを、しっかりと心得ておきましょう。

今回も同じアドバイスですが、  
事態が進まないうちに、信頼できる人に相談する・・・

難しいことですが、  
恥をかいてでも考働することが、事故にならない道なのです。

今回のテーマは以上となります。  
お読みいただき、ありがとうございました。

＊お問合せ・「理念経営実戦のすすめ」特価（100 円）で販売  
<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

ご愛読ありがとうございます。

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

【1】 #525号・・・21・11・19(金)・・・バックナンバー

https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を持続いたしますので、重ねてご支援ご鞭撻を  
よろしくお願いします。

◆次号 第527号 21・12・03（金）は、

八起会 代表 竹花 利明氏の執筆で

4回シリーズ 企業経営のリスクマネジメント・八起会に学ぶ

第3回 コロナ禍にヤクザに乗っ取られた病院の末路

を、お届けいたします。どうぞお楽しみに！

竹花氏プロフィール

<http://www.penplus.jp/profile.html>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

---

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本 靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・(株) I&C・HosBiz センター 執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)・・・CSA 開発推進責任者  
・プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

◆Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

<https://www.facebook.com/MRCkazu/>

◆◆緊急告知！◆◆

～～ゴールするまで寄り添います～～

アフターコロナで激変する時代。

地域・業種 NO.1 をめざす企業家の皆様へ。

「伴走型」経営支援を成功報酬契約で挑戦いたしませんか！！

「モニター企業」を募集しておりますので、お問合せください。

動画でご案内しております。ぜひ、ご覧ください

<https://rinenkeieishi.net/>

◆お問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本 靖夫、 編集長：岩下 一智 MRC

\*配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

\_\_stop\_\_